

# 「ボランティア・ 支援者の育成」

～ 愛知県春日井市  
の取り組み～

NPO法人春日井子どもサポート

**KIDS COLOR**

理事長 志村美和



# 愛知県春日井市

人口 309,099人 <令和4年12月1日現在>



『書のまち 春日井』  
平安時代の有名な書家、小野道風  
(おののとうふう) が生まれたという  
言い伝えがあります。



# 春日井市内の小中学校及び特別支援学校

小学校38校、中学校16校 計54校 県立高校4校、私立1校

## 春日台特別支援学校

知的障害者が対象 幼稚部 5名、  
小学部21名、 中学部19名、高等部45名



## 春日井高等特別支援学校

軽度知的障害者が対象 各学年54名定員



# NPO法人春日井子どもサポート

## KIDS COLOR

発達障害及びその可能性のある子ども、その保護者や支援に関わる者に対して、子どもたちが持つそれぞれの価値を高めるための事業を行い、通常学級における学習支援、コミュニケーションスキルの習得・安全確保に係る問題の改善や解決を図り、子ども自身のスキル向上及び保護者や支援者の知識向上と地域への発達障害理解の増進に寄与することを目的とする団体。

2015年7月にNPO法人の認証を受ける

\* 主な事業 \*

- ① 特別支援教育支援員養成講座  
(コロナ禍でお休み中)
- ② 子育て座談会 (保護者対象の井戸端会議)
- ③ 支援学習会 (子どもの支援に関わる人なら誰でも参加OK! 事例をみんなで考えます)
- ④ 地域啓発事業 (今年度は「つながる支援」  
3回連続講座を開催。過去には映画上映、講演会、コンサートなどを企画)



# 発表者**志村**の経歴と 大切にしていること

職業：幼保連携型認定こども園で保育教諭  
兼「子育て相談ルーム」の相談員

中京学院大学短期大学部保育科非常勤講師

\* 令和5年度からは、名古屋経済大学、愛  
知文教大学での講師も決まっています。

委嘱委員：地域学校協働推進員  
生涯学習審議会委員

ご縁とタイミング！  
忙しいと俄然やる気が出る！



文部科学省 学校卒業後の障害者の学びの支援に  
関する実践研究委託事業

**「春日井市における民間との協働による  
障害者生涯学習プログラムの開発」**

令和3年度～受託今年は2年目

(テーマ)春日井市における民間団体との連携協働による障害者生涯学習プログラムの開発 Part2

Nothing about us without us(私たち抜きに私たちのことを決めないで！)

春日井市のリソースを築田！

障害者の生涯学習実践研究講座

コーディネーター 田中真三 (愛知県立大学名誉教授)

- 第1回 「春日井市における障害者福祉の現状と課題」 木谷和臣 (日本福祉大学教授)・伊藤直樹 (特)
- 第2回 「障害者福祉事業における学び支援」 ① 治部丸慶子 (社会福祉法人まちスウィング)
  - ② 杉田まお (春日井市総合福祉センター所長)
- 第3回 「学習支援」
  - ① 林ともみ (春日井市特別支援学校 PTA 会長)
  - ② 田中克也 (地域活動支援センター-dam baka BLUES)
- 第4回 「スポーツ支援」
  - ① 伊藤吉治 (FC.FERVOR)
  - ② 瀧崎崇志 (D-High Dance Studio)
- 第5回 公開講座「障害者の生涯学習支援と行政-公民路の収斂」 辻 浩 (名古屋大学教授)
- 第6回 「まとめ」 田中真三 (本事業コーディネーター)

文化・スポーツ講座

- ★サッカー教室 (FC.FERVOR)
- ★アートキャラリン (アジア子ども美術協会)
- ★墨のまち春日井で「あ〜とて書?」

夢中になれること！特別と一緒！

視察研修 (2カ所)

- ★名古屋市青年委託学校「汽車ポッポ」
- ★社会福祉法人表の想得社会
- 「ユースコラ徳見島」

産官連携からの学び

共生社会コンファレンス

日時:2022年12月17日(土)

場所:産官福祉センター

小ホール

★成果報告と検討

- 1.「障害者の生涯学習実践研究講座 Part2」
2. スポーツ講座
3. 文化講座
4. 視察研修

★ラウンドテーブル「地域共生社会と障害者生涯学習支援を考える」

井口信太郎 (NPO代表)

伊藤直樹 (NPO代表)

上田寛 (NPO代表)

辻浩 (名古屋大学教授)

(主催)

NPO法人春日井子どもサポート

KIDS COLOR/春日井市/春日井

市教育委員会/春日井市社会福祉

協議会/文部科学省

(協力)

愛知県立春日井特別支援学校/春

日井市特別支援学校/愛知県特

別支援学校/愛知県立生涯

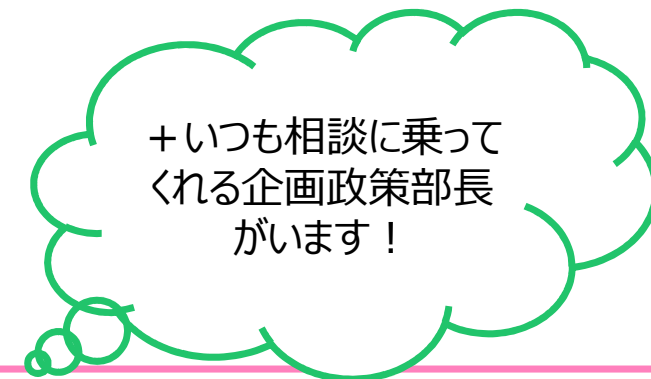
学習支援研究会

連携協議会 (年3回開催)

- ・委員長:伊藤 直樹 (中部大学教授、元愛知県立特別支援学校校長)
- ・佐藤 勇樹 (愛知県立春日井特別支援学校校長)
- ・内藤 純子 (春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課課長)
- ・溝口 和子 (愛知県立春日井高等学校特別支援学校校長)
- ・中山 一徳 (春日井市健康福祉財団がいびき課課長)
- ・福部 浩子 (春日井市手をつなぐ育成会会長)
- ・大野 利直 ((春日井市青少年子ども部子ども政策課課長)
- ・伊田 三奈子 (春日井市親身不自由児・若父母の会会長)
- ・大城 達也 (春日井市教育委員会事務局学校教育課課長)
- ・須川 悠 (春日井市地域精神障害者支援会むつみ会会長)
- ・石原 迅 (春日井市社会福祉協議会総合支援課課長)
- ・志村 美和 (本事業代表)
- ・田中 真三 (本事業コーディネーター、愛知県立大学名誉教授)

(協力) (教育・福祉)、特別支援学校、関係団体等の連携強化

# ・ チーム（連携協議会） 計17名



コーディネーター  
愛知県立大学名誉教授  
田中 良三

- ☆事務局長  
志村 美和
- ☆事務局員  
伊藤貴治市議会議員  
寺谷直輝非常勤講師  
堀部要子大学准教授
- ☆会計  
KIDSCOLOR 丹羽千穂
- ☆行政事務局  
文化生涯学習課 伊藤英彦

- ・連携協議会委員長：中部大学伊藤佐奈美教授
- ・子ども政策課 課長
- ・障害福祉課 課長
- ・学校教育課 課長
- ・文化・生涯学習課 課長
- ・社会福祉協議会 課長
- ・特別支援学校2校 校長
- ・手をつなぐ育成会、肢体不自由児・者父母の会、  
精神障害家族会むつみ会



# 事業計画

1. 障害者の生涯学習実践研究講座
2. 視察研修
3. 文化・スポーツ講座 <サッカー・バドミントン・書道・アート>
4. コンファレンス



# 2021年度

回	ライフステージ	講師	共同研究者
第1回	乳幼児期	浅井 順子 柏井保育園理事長 村田 暢子 柏井保育園副園長	山本 理絵 (愛知県立大学教育福祉学部教授)
第2回	学齡期 (小・中)	宮本 郷子 龍谷大学社会学部特任教授 元小学校教員	今井 理恵 (日本福祉大学教育・心理学部准教授)
第3回	学齡期 (高校・専攻科)	藪 一之 見晴台学園長	辻 正 (学校法人聖母の家学園元校長)
第4回	青年期 (大学)	大竹 みちよ 見晴台学園大学教員	寺谷 直輝 (愛知県立大学客員共同研究員)
第5回	青年期 (就労)	井上 雅博 NPO法人自立支援センターるっく職員	竹井 沙織 (名古屋大学未来社会創造機構研究員)
第6回	青年期 (地域)	河合 賢治 名古屋市教委・委託青年学級 「きしゃぽっぽ」代表	辻 浩 (名古屋大学教授)
第7回	まとめ (発表会)		

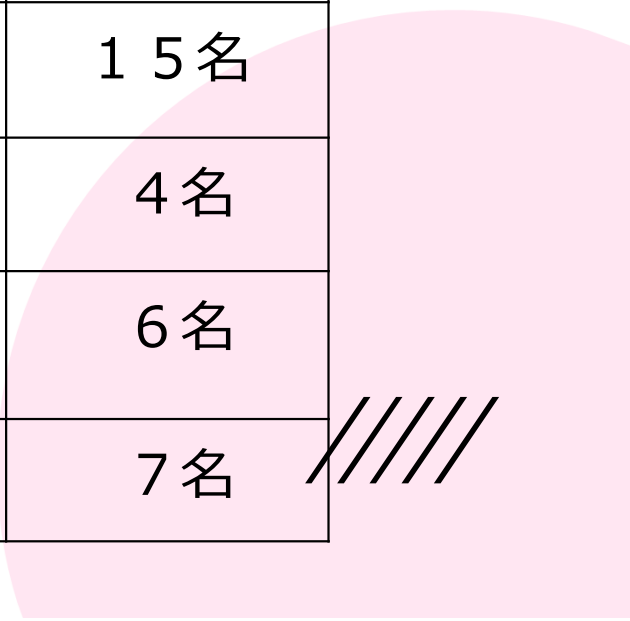
# 2022年度

第1回	本事業と春日井市の障害者福祉	・愛知県立大学名誉教授 田中 良三 ・日本福祉大学教授 木全 和巳
第2回	障害者福祉事業における学び支援	・総合福祉センター所長 松田 強志 ・社会福祉法人まちスウィング 治郎丸 慶子
第3回	余暇支援	・特別支援学校同窓会サポート 林 ともみ ・地域活動支援センター-deco boko BLUES 田中 克也
第4回	スポーツ支援	・FC.FELVOR 伊藤 貴治 ・D-high Danceスタジオ 高橋 里志
第5回	公開講座 障害者の生涯学習支援と行政・公民館の役割	名古屋大学教授 辻 浩
第6回	まとめ	愛知県立大学名誉教授 田中 良三



## 講座の受講者

所属	2021年度	2022年度
春日井市役所職員	7名	13名
公民館・ふれあいセンター等職員	9名	15名
社会福祉協議会	3名	6名
福祉事業所（放課後デイを含む）	3名	15名
保護者団体	0名	4名
KIDSCOLOR会員	6名	6名
その他	7名	7名



講座で大事に  
したこと

『つながり』

☆ 毎回グループのメンバーはシャッフル

☆ 毎回振り返りレポート提出





# 講座の目的、講座で何を学ぶか

＜春日井市の場合＞

- 講座の対象者を行政職員としたこと➡障害のある人を一番身近で支える人
- 講座の受講者同士で議論することで得られる自分と違った視点、新たな発見  
➡講座の学びだけでなく、グループで学びを深めることで様々な考え方があることに気づく。新たなコミュニティができ、情報を得ることができる「学びあい」
- 乳幼児期からの育ちを理解し、生涯を通した学びについて考える➡どんな支援を受けてきたのか、どんな成長発達をし、今後につなぐ支援を考える
- 学校教育とは違い、青年となった彼らの成長・発達を保障する「学習主体は本人」  
➡やりたいこと、好きな事、友人・仲間と学びあえる場「学びあい」

『**障害者の生涯学習専門支援員**』の養成を目指す



# 文化・スポーツ講座

①春日井インクルーシブアートキャラバン



②私だけの書TIME

③春日井ドリームサッカーフェスティバル





文化・スポーツ  
講座で得た  
ことと見えてき  
た課題

- 
- 
- 講座では、それぞれ大学、公民館、民間クラブチームの協力を得た
  - アート、サッカーには学生ボランティアの参加があり、彼らにとっても学びとなった
  - 送迎の問題、施設環境の問題、広報の問題、参加者が集まらない。  
講師や施設職員の研修の必要性







## ・学校在学中に行う「生涯学習」についての指導 ・学生ボランティア制度

○「学校から社会への移行期」を大事にする➡特別支援学校にゲストティーチャーとして講師を派遣し授業を行う➡卒業後、社会に出ても「学ぶ」機会があることをキャリア教育として指導する。

指導者も授業を通して必要な環境や伝え方を学ぶ **「学びあい」**

○講座に学生ボランティアがいることによる相乗効果➡講座で学ぶこと以外におしゃべりする、上手な人を真似る、褒めてもらって嬉しい青年たちと教員をめざす学生にとって座学では得られない経験となるボランティア **「学びあい」**



「春日井市における民間との協働による  
障害者生涯学習プログラムの開発」  
はまだまだ途中！

何をするの？

どこでやるの？

誰がやるの？

どう周知していくの？

どうやるのー！？

いよいよ3年目。少しずつ具体化できるよう  
頑張ります！



ありがとうございました